

「理科・基礎」:2科目の解答順序、60分の時間配分“自由”／
“解答用紙1枚”(表面)に2科目解答!

「問題冊子」:数学“2分冊”／理科“3分冊”

数学①＝新課程2科目＋旧課程2科目／数学②＝新課程2科目＋旧課程1科目、
理科①＝「理科・基礎」4科目／理科②＝「理科・発展」4科目／旧課程6科目

旺文社 教育情報センター 26年7月8日

大学入試センターは26年6月初めに『27年度センター試験実施要項』を公表し、2日間にわたる試験実施の時間割や旧課程科目を含めた「得点調整」の実施などを決定した。

さらに、7月上旬には、注目されていた「理科①」(「基礎を付した科目」<基礎科目>の出題)の受験方法や解答用紙、及び「経過措置」に係る旧課程科目を含む「数学①」、「数学②」、「理科①」、「理科②」(「基礎を付していない科目」<発展科目>の出題等)の「問題冊子」などを含め、27年センター試験の主な変更点等を改めて公表した。

以下に、27年センター試験の「数学・理科」でこのほど明らかにされた主な変更点等の概要を速報する。詳細は、大学入試センターのHPに掲載される資料等を参照されたい。

<27年センター試験:「出題教科・科目」、「時間割」等>

27年センター試験(本試)は、27年1月17日(土)及び18日(日)の両日、次の時間割で実施される。

●27年センター試験「出題教科・科目」&「時間割」

試験日	出題教科・科目	試験時間
第1日 (1/17) ・ (土)	地理歴史 公民 「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」 「政治・経済」「倫理、政治・経済」	2科目受験 9:30～11:40(*注1) 1科目受験 10:40～11:40
	国語 「国語」	13:00～14:20
	外国語 「英語」「ドイツ語」「フランス語」 「中国語」「韓国語」	【筆記】15:10～16:30 【リスニング】:「英語」のみ 17:10～18:10(*注2)
第2日 (1/18) ・ (日)	理科① 「物理基礎」「化学基礎」 「生物基礎」「地学基礎」	9:30～10:30(*注3)
	数学① 「数学I」「数学I・数学A」 *「旧数学I」*「旧数学I・旧数学A」	11:20～12:20
	数学② 「数学II」「数学II・数学B」 *「旧数学II・旧数学B」 「工業数理基礎」「簿記・会計」 「情報関係基礎」	13:40～14:40
	理科② 「物理」「化学」「生物」「地学」 *「理科総合A」*「理科総合B」 *「物理I」*「化学I」 *「生物I」*「地学I」	2科目受験 15:30～17:40(*注1) 1科目受験 16:40～17:40

<注記>

- * 左表の「出題教科・科目」欄で、*印の科目は「経過措置」として旧教育課程により出題される科目である。
新課程履修者は、選択解答できない。
- * 注1. 地理歴史と公民並びに理科②グループの試験時間で、2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」に区分し各“60分間で解答”する。
ただし、「第1解答科目」と「第2解答科目」の間に答案回収等を行うために必要な時間を加え、“試験時間は130分”となる。
- * 注2. 「リスニング」は“30分間で解答”するが、解答開始前に受験者に配付したICプレーヤーの作動確認・音量調節を受験者本人が行うために必要な時間を加え、“試験時間は60分”となる。
- * 注3. 理科①グループについては、1科目のみの受験は認められない。

＜数学の受験方法等＞

○ 受験の有無を「事前登録」

- 数学は、「受験する」（志願票にAを記入）／「受験しない」（志願票に×を記入）の別を事前登録する。
- 登録内容の変更は、26年10月27日までに受け取る「確認はがき」で確認後、「登録教科等訂正届」を11月4日までに大学入試センターに郵送する。
なお、数学以外の教科についても登録内容の変更は、上記の要領で行う。
- 数学を受験登録した場合、試験当日は数学①のみ、数学①+数学②、数学②のみの受験が可能。
- 新課程履修者は、旧教育課程による出題科目（「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅰ・旧数学A」「旧数学Ⅱ・旧数学B」）を選択解答できない。
- 旧課程履修者は、新課程・旧課程科目を含め、数学①では4科目から1科目を、数学②では3科目から1科目をそれぞれ選択解答できる。

○ 数学の問題冊子：新・旧課程科目含む“2分冊”

- 数学①の問題冊子＝「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」及び「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅰ・旧数学A」
- 数学②の問題冊子＝「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」及び「旧数学Ⅱ・旧数学B」（「旧数学Ⅱ」の経過措置は講じられない）

＜理科の受験方法等＞

○ 新課程「理科」の選択解答方法

- センター試験の新課程「理科」は、新しい学習指導要領に対応して、物理・化学・生物・地学の4領域の各「基礎科目」を理科①に、各「発展科目」を理科②に配置し、全8科目を次のようなA～Dの“4パターン”に区分した選択方法によって選択解答する。
 - ・ A＝「基礎2科目」：物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目選択解答
 - ・ B＝「発展1科目」：物理、化学、生物、地学から1科目選択解答
 - ・ C＝「基礎2科目＋発展1科目」：物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目、及び物理、化学、生物、地学から1科目選択解答
 - ・ D＝「発展2科目」：物理、化学、生物、地学から2科目選択解答

○ 科目選択方法等を事前登録

- 理科を受験する場合、「“新課程科目”を受験する」（新課程履修者及び旧課程履修者）のか、「“旧課程科目”を受験する」（旧課程履修者のみ）のかを事前登録する。
- “新課程科目”を受験する場合：上記A～Dの4パターンのうちから1つを事前登録する（志願票にA～Dのいずれか1つを記入）。
- “旧課程科目”を受験する場合：理科②を「“1科目”受験」の場合はH／理科②を「“2科目”受験」の場合はKを、それぞれ受験票に記入する。
また、理科を「受験しない」場合は、受験票に×を記入する。

- 試験当日、登録した「科目選択方法」を変更することはできない。
 - 旧課程履修者は、理科の旧課程科目と新課程科目を組み合わせた選択解答はできない。
なお、数学では、旧課程履修者は旧課程科目と新課程科目を組み合わせた選択解答が可能である。
 - 数学を新課程(又は旧課程)科目、理科を旧課程(又は新課程)科目(いずれも事前登録)の組合せで受験することもできる。
- **理科の問題冊子：基礎科目／発展科目／旧課程科目別の“3分冊”**
- **理科①の問題冊子**＝「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」
 - **理科②の問題冊子**＝**新課程用**：「物理」「化学」「生物」「地学」
旧課程用：「理科総合A」「理科総合B」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」
「生物Ⅰ」「地学Ⅰ」
- 理科②では、問題冊子を新課程用、旧課程用いずれか1冊を配付する。
- **理科①の受験方法等**
- 理科①(基礎科目)は解答時間60分で、「基礎4科目」から必ず“2科目”を選択解答する。2科目の解答の順序、及び時間配分は自由。
 - 「解答用紙」は1枚で、表面に“2科目分”を解答する。

＜試験場の“グループ”化＞

- センター試験志願者の試験場は、原則として都道府県を単位とする「試験地区区分表」に基づき設定した試験場の中から、大学入試センターが志願者数の分布や使用施設の収容数等を考慮し指定する。
指定された試験場は、変更できない。
- 27年センター試験は、新課程「理科」のパターン化された選択解答方法や数学・理科の「経過措置」による新課程科目受験者、旧課程科目受験者など、極めて多様・複雑化した試験実施となる。
このため、大学入試センターでは、同じ試験地区内の複数の試験場を「仮想的に1つの試験場とみなし、試験場の収容数のスケールメリットを活用」して、志願者を割り当てている。こうした措置で、次のような設定ができるという。
- ① 新課程科目試験室又は旧課程試験科目試験室のみの試験場設定が可能になる。
 - ② 志願者の受験パターンごとに、1つの試験場に集約することができる。
- これらのことから、各試験場における複雑化を極力回避し、試験の円滑な実施が可能になるとしている。
- なお、“グループ化”の導入(どの試験場に適用するか)は、各大学の収容数や受験者の利便性等を踏まえて、各試験地区(都道府県)で判断するという。